

【社長インタビュー】

2025年ビジョン実現への序章

拡大・成長のできる

企業への転換を目指す

【特集】

保育事業と海外展開について

KYOSHIN REPORT

第31期年次報告書

平成23年3月1日から平成24年2月29日まで



株式会社

京進

2011年度
合格実績

京都・滋賀エリアを中心に、 圧倒的な合格実績。

2011年度(2012年春)の入試でも、多くの生徒の皆さんの笑顔を見ることができました。

特に、中学受験指導においては、強化プロジェクトの推進や特別講座(算数合宿の実施や日曜特訓の長時間化等)の実施により、右記の通り、前年に比べて大きな成果を挙げました。

2012年度からは、入室されたお子様ひとりひとりの学力を最大限に伸ばすことを目的として、指導システムを刷新しました。“ひとりひとりの最高水準合格”をテーマに、より高い目標設定を行い、感動の志望校合格を実現させます。京進は、お子様が自分で夢を実現させる力をこれまで以上に育てていきたいと考えています。

■ 新たな中学受験 指導体制



中学受験合格実績

※合格者数は2012年4月9日現在の実績です

洛南
高校附属中学

8名

昨年比
133%

▲洛南・洛星合格者数推移

洛星
中学

28名

昨年比
112%

同志社系
中学

110名

昨年比
128%

同志社 41名 同志社国際 9名
同志社女子 40名 同志社香里 20名

立命館系
中学

139名

昨年比
126%

立命館 51名 立命館宇治 42名
立命館守山 42名 初芝立命館 4名

その他多数の中学に合格!

京都公立高一貫中学、
教育大附属中学にも多数合格!

洛北 高附属
中学

11名

滋賀県立中学にも多数合格!

西京 高附属
中学

25名

京都教育大学附属京都市中
13名

京都教育大学附属桃山中
9名

守山 中学

29名

河瀬 中学

29名

水口東 中学

34名

高校受験合格実績

※合格者数は2012年4月9日現在の実績です

滋賀県立高校 合格速報

圧倒的! 京進は今年も塾別合格者数

No.1!!

膳所 153名 合格者の3人に1人が京進生!

彦根東 156名 合格者の2人に1人が京進生!

県立トップ2校

309名 昨年比 112.0%

県立トップ9校

776名 昨年比 107.3%

石山 70名
東大津 89名
守山 43名
八日市 69名
虎姫 57名
水口東 46名
米原 93名

塾別
合格者数
No.1

723名
776名
2011 2012

京都公立高校 合格速報

私立高校 合格速報

適性トップ3校

125名

堀川 探究学科群適性 37名

嵯峨野 京都こすす科適性 54名

西京 エンタープライジング科適性 34名

洛南 (国額 85名) 96名

同志社系 88名

同志社 63名 同志社国際 13名
同志社女子 6名 同志社香里 6名

立命館系 171名

立命館 62名 立命館宇治 28名
立命館守山 77名 初芝立命館 4名

大学受験合格実績

※合格者数は2012年4月16日現在の実績です

京都・滋賀の現役高校生対象学習塾で

現役合格実績数 No.1!!

2012 大学受験
全員が
現役合格

東大・京大 30名 東京大学 2名 京都大学 28名

国公立大医学科 15名

滋賀医大 医学部医学科推薦入試 6名 東大理工、名古屋大、京都府立医大、
推薦合格者の4.2人に1人が京進生! 奈良県立医大、名古屋市立大、他

国公立大学 合計 578名

大阪大学 36名 神戸大学 29名 名古屋大学 7名 東北大学 3名 九州大学 1名
北海道大学 5名

関関同立 1098名

関西大学 316名 関西学院大学 81名 同志社大学 252名 立命館大学 449名

※No.1表記は京進調べ ※合格者数は京進グループ全体のものです
※同一校の重複合格は含まれておりません ※内部進学者を含みます

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素よりご支援ご鞭撻を賜り心よりお礼申し上げます。

さて、当業界におきましては、少子化による市場規模の縮小の継続や、新規参入社増加の影響を受け、厳しい経営環境が続いておりますが、教育政策や保育・育児に関する議論の活性化などにより、当業界に対する社会の関心は高まりを見せております。

このような状況の中、当社グループは、人づくりを最重要課題とした研修・教育の強化に努め、社員の質の向上や商品・サービスの改善を図ってまいりました。

その結果、期首から新規入室数が堅調に推移しましたが、夏以降の伸びが鈍り、新規入室数は全校で13,379名(対前期比91.2%)となりました。しかし、売上高は9,999百万円(前年同期比100.1%)とほぼ前年並みとなりました。部門別では個別指導部が最も好調で、英会話事業やFC事業が念願の黒字転換を果たしています。

利益面につきましては、前年に落ち込んだ客単価の回復や、全社員が危機感を持ってあらゆる面で無駄の排除とコスト削減に取り組んだ結果、営業利益372百万円(前年同期比130.3%)、経常利益324百万円(前年同期比187.7%)と、経常利益において大幅増益を果たしました。

2012年度は、その事業基盤をベースとして新たな中期経営計画を策定し、将来の飛躍に向けた人材育成や各事業部の強化、新規事業の取り組みに力を注いでまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長
白川 寛治

社長インタビュー

2025年ビジョン実現への序章

拡大・成長のできる企業への転換を目指す



代表取締役社長
白川 寛治

2015年に向けて学習塾事業の収益力向上と新規事業への積極的な投資を図る

Q 新しい中期経営計画の概要を教えてください。

A 当社グループは、これまで社員の人材育成を重点課題として能力開発と学習サービスの充実に努めてまいりました。今後も人づくりに主眼を置いた方針に変わりはありませんが、次の飛躍に向けた攻勢をかけるべく新たな中期経営計画を策定いたしました。2012年から2014年までの3年間は「2025年ビジョン実現への序章」と位置づけ、「拡大・成長のできる企業づくり」を目指します。

2025年ビジョンとは、創業50周年に向けて日本一、世界一の教育総合企業グループを目指すという将来の企業像を示した長期構想で、連結売上高3,000億円、世界4本社体制などの目標を掲げています。現時点では遠い目標ですが、実現に向けて着実に歩んでいく所存です。この3年間はビジョンの実現に向けて大きな一歩を踏み出す期間とし、続く2015年には連結売上高で過去最高の125億円、連結経常利益過去最高の12.5億円、経常利益率10%の高収益企業を目指します。

Q 2012年度の方針と、学習塾事業が目指す「2015年の姿」を教えてください。

A 中期経営計画の初年度となる2012年度は、学習塾事業3部門(小中部・高校部・個別指導部)の出店を早期に利益が見込める場合に限定し、既存校の集客増とサービスの質向上に努めます。そして2013年は新規出店と新規事業への積極的な投資を進め、中期経営計画の達成を目指します。

学習塾事業が目指す2015年の姿は、それぞれの校・教室が地域No.1となることです。No.1とは地域の生徒数に対するシェアであり、対象校の合格実績です。また、「京進に通うと、学習態度や生活習慣が劇的に変化し、学力が飛躍的に向上して志望校に合格する」といった評価を得られる学習塾でありたいと考えています。そのために、自ら目標設定し、その目標に向かって自ら考え行動する自立型人間育成を目的としたリーチングメソッドによる指導を確立し、他社との差別化を図ります。

31期に黒字化を達成した英会話事業とFC事業は、今後の成長エンジンとして事業拡大を加速していきます。英会話事業は2012年中に4教室目を出店し、その実績をバネに2015年には10教室の出店を目指します。特に幼児や小学生対象のコースを充実させ、フランチャイズ化も視野に展開していきます。

FC事業は新規加盟教室の増加を図り、2015年には収益の大きな柱として、全国展開に向けて本格的に準備を進めてまいります。

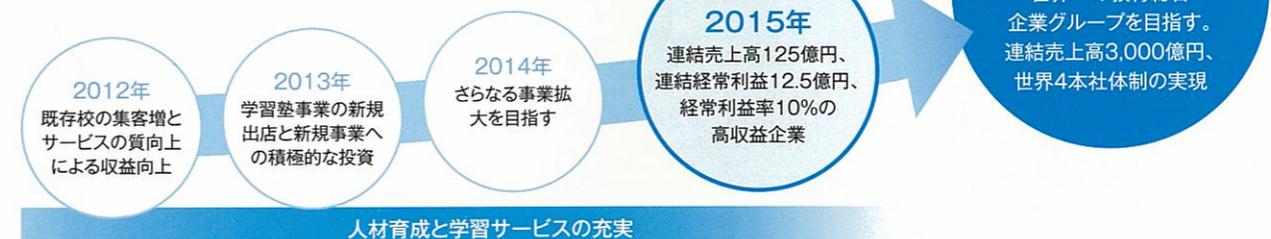
Q 新規事業の展開についてお聞かせください。

A 学習塾事業を基盤として今後も注力していきますが、さらに大きく飛躍するために新規事業分野への参入も積極的に進めていく考えです。

その一つである幼児教育事業は小学校受験というニッチな市場だけに、知能開発などを組み合わせた付加価値の高いサービスを提供していくことで成長を図ります。

■ 中期経営計画と2025年ビジョンへのロードマップ

2025年ビジョン実現への序章
「拡大・成長のできる企業づくり」





また、保育事業の「HOPPA」は昨年開園した、からすま京都ホテルの1号園を成功モデルとして、そのノウハウをもとに京都以外でも複数展開していく方針です。子会社の株式会社アルファビートは一般企業にリーチングを用いた研修の採用を働きかけ、人材育成研修企業として認知度を高めています。

さらに新しい事業展開を目指した市場調査・分析・事業戦略立案や、当社グループと価値観を共有できる学習塾や語学スクールとの提携・合併も積極的に進め、着実に事業を拡大していく方針です。

Q 海外展開の展望をお聞かせください。

A 日本語教育事業では、中国の広州・佛山で展開する日本語学校の収益力を高める一方、深圳など日本企業が進出する周辺都市にも複数展開していき

いと考えています。また、海外の日本語学校から「OLJランゲージアカデミー(東京・渋谷)」へ多数の留学生を送り出したいと考えています。

OLJランゲージアカデミーには、今期に中国の貴州大学から留学生を受け入れるほか、中国の湖南大学やタイの大学との提携協議、ベトナム、ミャンマーからの留学生を受け入れる計画が進んでいます。

このようなアジア諸国をはじめ、日本と同じような受験体制の国から留学生を受け入れて社員として雇用し教育する構想も描いています。彼らが成長して母国に帰り、現地において、現地の方を対象とした学習塾を開設することで当社グループのネットワークは広がっていくはず

です。欧米への展開では、昨秋、ニューヨークに子会社を設立して念願のアメリカ進出を果たし、この夏までには、

日本人子女を対象とした個別指導の「NYハリソン教室」が開校する予定です。ハリソン教室が成功すれば、そのノウハウを活かしてニュージャージー州、西海岸、さらにはイギリスへと展開し、日本、ヨーロッパ、中国、アメリカの世界4本社体制に向けて大きな一歩を踏み出すことができます。これにより社員の活躍フィールドが広がり、モチベーション向上につながっていくと思います。

Q これらの事業を推進するうえで、最も重要な課題は何でしょうか。

A 当社グループには多くの事業の芽がありますが、すべての事業発展の生命線は人の成長にかかっています。私を筆頭とする経営陣が、幹部にふさわしい素養を身につけて明確な方向性を示すとともに、全社員を対象とした人材育成と能力開発プログラムに力を入れていきます。

特に次世代リーダー育成プロジェクトによって次期部長の育成を早急に図らなければなりません。また、ミドルマネージャーのリーダーシップ力を高めていくことも重要です。さらに、全社や部門別の研修だけでなく、職位や職制、経験年数、習熟度など、あらゆる角度から学べる仕組みを構築していきます。ただ、社員が受身で学習しているのでは真の実力アップは望めません。一人ひとりが自ら学ぼうとする仕組みと企業風土をつくり、切磋琢磨することによって全体のレベルアップを図っていく考えです。

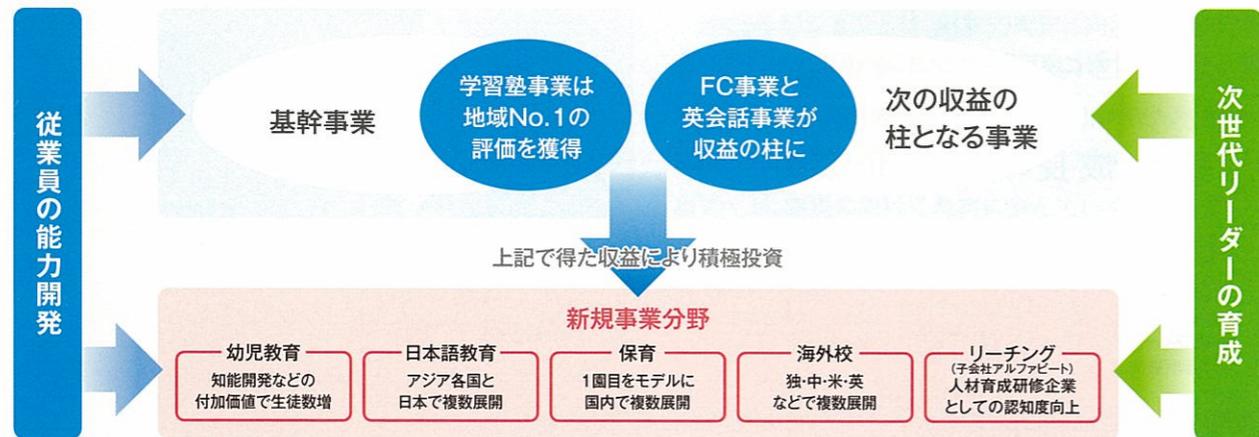
Q 最後に株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A 株主の皆様には平素より当社グループの事業を温かく見守っていただき、誠に有難うございます。当社グループは、中期経営計画を推進し、既存の学習塾事業と新規事業を拡大していくことによって企業価値を高めていく考えです。また、計画を達成することで、一時的に落ち込んだ配当の早期復活を目指します。

当社グループのビジョンにご理解をいただき、なお一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



■ 各事業部門の2015年のあるべき姿



保育事業

第1号保育園「HOPPAからすま京都ホテル」順調に運営

京進がこれまでに培ったノウハウを活かした知育カリキュラムを特色とする新しいタイプの保育園「HOPPA」第1号園が昨年11月に開園し、順調に動き出しています。

京都市中心部のホテル内に開園した「HOPPAからすま京都ホテル」。安全に十分配慮した保育室、壁をよじ登って遊べる「ウォールクライミング」、頭を使って遊べる「ギアの壁」など、設備には様々な工夫がされています。また、都会にありながらも、菜園や砂場、大型遊具などのある約140坪という広い専用園庭、ホテル内という環境を十分に活かして、シェフが作る本格的な給食や手作りおやつなど、質の高いサービスを提供しています。

同園では1日3～4時間ネイティブ講師が英語で保育する「イングリッシュ・タイム」や脳トレ用立体パズルなどを取り入れた算数教育など、子どもたちが楽しみながら潜在的な能力を伸ばせるカリキュラムを用意しています。

安全性を重視し、長時間お預かりする保育園の形式ながら、知育に重点をおき、教育的要素を盛り込んだ保育園「HOPPA」は、保護者の方からご満足をいただき、高い評価を獲得しています。共働き家庭を支援する社会貢献という意味合いでも、さらなる事業拡大を目指していきます。

ひな祭りメニューのひとつ。ホテルのシェフがつくったイチゴ大福です。



園庭に設置したすべり台で思い切り遊びます。

イングリッシュ・タイムの風景。イラストを見て英語で答えます。



保育園の一日



個別指導教室の海外展開

ニューヨーク郊外に「京進スクール・ワンNYハリソン教室」開校予定

昨今の日本企業では海外駐在員が若年化し、幼児や小学生を持つ世代に赴任させることが多くなっています。また、最近の海外駐在員は子どもを日本人学校に通わせるより、地元のインターナショナルスクールで現地の子どもと一緒に学ばせ、日本語習得や帰国後の受験対策は補習校に通わせるという傾向が強くなっています。

当社グループは、このような日本人子女の教育ニーズに対応するため、アメリカ・ニューヨーク州に昨年11月、100%出資の子会社「Kyoshin USA, Inc.」を設立。それぞれのお子さんの希望や事情に合わせて学べる個別指導の学習

塾「京進スクール・ワンNYハリソン教室」を夏までに開校する予定です。

当教室を開校するハリソンは、ニューヨーク市郊外の日本人居住地で、多くの集客が見込めると判断して選定しました。日本人子女を対象とした海外校はドイツ・デュッセルドルフ、中国・広州に次ぐ3校目となります。当社グループでは当教室を早期に収益化するとともに、日本人居住地であるニュージャージー州や西海岸にも進出し、本格的な海外展開の足がかりにしたいと考えています。

■ Kyoshin USA, Inc.の概要

所在地 アメリカ合衆国ニューヨーク州
 代表者 高橋良和(当社取締役)
 資本金 30万USドル
 資本準備金 10万USドル
 創立年月日 平成23年11月15日
 大株主 当社100%出資



個別指導教室 京進スクール・ワン NYハリソン教室

ドイツ・京進デュッセルドルフ校



帰国した生徒からの手紙(海外校)



中国・京進広州校

主要なセグメント情報

学習塾事業 売上高 9,531百万円

当連結会計年度のセグメントの業績は、売上高9,531百万円、セグメント利益1,384百万円となりました。

期中平均生徒数は、個別指導部で堅調に推移しましたが、小中部・高校部で伸び悩んだ結果、学習塾事業セグメント全体では前期に比べ374人減少し20,804人（前期比98.2%）となりました。売上高は、個別指導部において客単価が前期に比べ上昇したこと（前期は「創業35周年記念キャンペーン」による授業料割引の実施等が客単価を押し下げた）もあり、前期比99.9%と前期並みを維持しました。セグメント費用は、販管費の見直しにより、前期に比べ103百万円減少しました。この結果、セグメント利益は、前期に比べ92百万円増加しました。

小中部	高校部	個別指導部
売上高 4,284百万円	売上高 1,037百万円	売上高 4,208百万円
生徒数 9,675人	生徒数 2,080人	生徒数 9,049人

当連結会計年度は、生徒数が前期比99.0%となり、売上高は前期に比べ減少し、4,284百万円となりました。

当連結会計年度は、生徒数の減少などにより、売上高は前期に比べ減少し、1,037百万円となりました。

当連結会計年度は、客単価が前期に比べ上昇したこと（前期は「創業35周年記念キャンペーン」による授業料割引の実施等が客単価を押し下げた）、生徒数が前期比100.3%と堅調に推移したことなどにより、売上高は前期に比べ増加し、4,208百万円となりました。

お知らせ

第32期より決算期(事業年度の末日)を変更

第32期より決算期(事業年度の末日)を変更いたします。これまで、当社の事業年度は毎年3月1日から翌年2月末日まででありましたが、基幹事業である学習塾事業の季節的な要因等により毎年2月から4月が繁忙期となります。よって、決算期を変更することにより、繁忙期と重なることを避け、業務負荷の分散・効率的な管理を図るため、決算期を5月31日とするものであります。なお、決算期変更の経過期間となる第32期事業年度は、平成24年3月1日から平成24年5月31日までの3ヶ月決算となります。

<変更後の概要>
 事業年度:6月1日~翌年5月31日
 定時株主総会の基準日:5月31日
 期末配当金受領株主確定日:5月31日
 中間配当金受領株主確定日:11月30日
 定時株主総会:毎年8月

その他の教育関連事業 売上高 476百万円

当連結会計年度のセグメントの業績は、売上高476百万円、セグメント損失128百万円となりました。

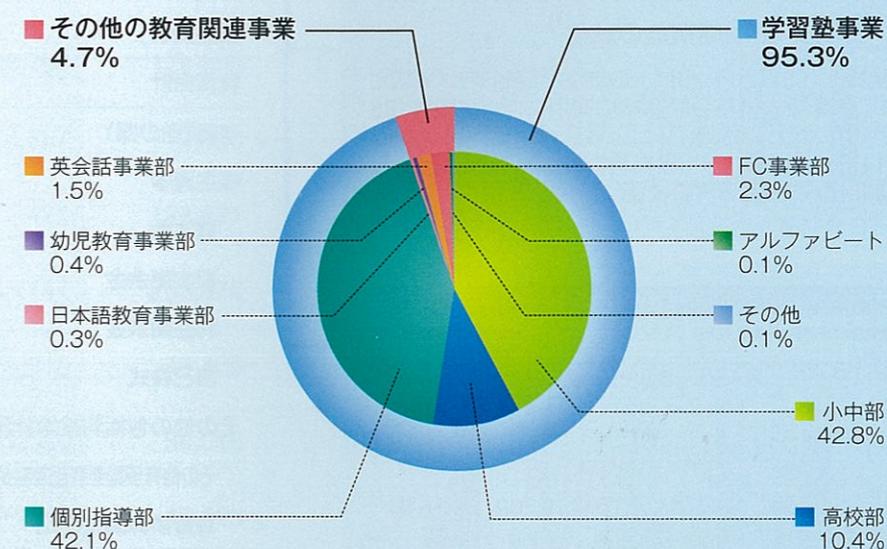
F C事業部、英会話事業部、幼児教育事業部ともに前期に対し生徒数が増加し、前期を上回る売上高となっております。また、F C事業部、英会話事業部は、営業利益において黒字を計上しております。日本語教育事業部、保育事業部、アルファビート(子会社)をあわせ、その他の教育関連事業部門全体では売上高476百万円(前期比105.7%)となりました。

なお、家庭教師事業部を廃止(前連結会計年度末をもって廃止)したことによる減収額は50百万円であります。

英会話事業部	FC(フランチャイズ)事業部
売上高 149百万円	売上高 230百万円

事業部門別売上高割合

(平成24年2月期)



連結財務諸表

POINT 1 流動資産が増加

流動資産は、2,002百万円となり128百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金の増加96百万円、繰延税金資産の増加24百万円等です。

POINT 2 流動負債が増加

流動負債は、1,923百万円となり99百万円増加しました。主な要因は、短期借入金の減少250百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加66百万円、未払金の増加56百万円、未払法人税等の増加162百万円、賞与引当金の増加32百万円等です。

POINT 3 営業利益・経常利益が増加

各現場における工夫や改善の積み重ね、管理部門を中心に余剰を極力抑えた人員の再配置が費用を抑制したことに加え、前期までに実施した校舎統廃合が当期の利益改善に寄与し、営業利益372百万円(前期比130.3%)、経常利益324百万円(前期比187.7%)となりました。

POINT 4 当期純損益の減益

減損損失(58百万円)の計上のほか、当期の特殊要因として、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額(85百万円)の計上、税制改正による繰延税金資産の取り崩し(114百万円)等により、当期純損失は96百万円となり、前期に比べ100百万円の減益となりました。

総資産・純資産・自己資本比率



連結貸借対照表(要約)

(単位：千円)

科目	当期末 (平成24年2月29日現在)	前期末 (平成23年2月28日現在)
(資産の部)		
流動資産	2,002,045	1,873,118
固定資産	5,888,797	6,052,466
有形固定資産	3,757,119	3,755,140
無形固定資産	159,490	212,130
投資その他の資産	1,972,187	2,085,196
資産合計	7,890,843	7,925,585
(負債の部)		
流動負債	1,923,032	1,823,294
固定負債	3,348,916	3,392,865
負債合計	5,271,948	5,216,160
(純資産の部)		
株主資本	2,640,092	2,736,635
資本金	327,893	327,893
資本剰余金	263,954	263,954
利益剰余金	2,049,678	2,146,212
自己株式	△1,432	△1,423
その他の包括利益累計額	△21,198	△27,210
その他有価証券評価差額金	23,173	8,754
為替換算調整勘定	△44,371	△35,965
純資産合計	2,618,894	2,709,424
負債純資産合計	7,890,843	7,925,585

連結損益計算書(要約)

(単位：千円)

科目	当期 (平成23年3月1日から 平成24年2月29日まで)	前期 (平成22年3月1日から 平成23年2月28日まで)
売上高	9,999,533	9,992,773
売上原価	7,293,437	7,348,248
売上総利益	2,706,096	2,644,525
販売費及び一般管理費	2,334,035	2,358,896
営業利益	372,060	285,628
営業外収益	21,280	17,200
営業外費用	68,753	129,869
経常利益	324,587	172,960
特別利益	471	123,821
特別損失	153,147	253,372
税金等調整前当期純利益	171,910	43,409
法人税、住民税及び事業税	221,530	54,016
法人税等調整額	46,914	△15,023
当期純利益又は 当期純損失(△)	△96,534	4,416

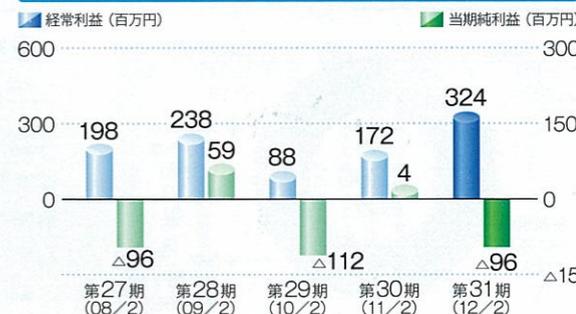
売上高



営業利益・営業利益率



経常利益・当期純利益



株式情報 & 会社概況

株式情報 (平成24年2月29日現在)

発行可能株式総数	22,640,000株
発行済株式の総数	8,396,000株
株主数	1,299名

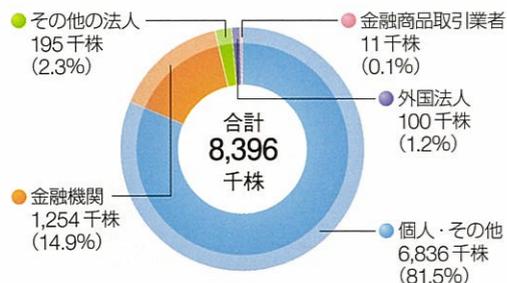
大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
立木 貞昭	2,637,600	31.41
京進社員持株会	570,000	6.78
株式会社 三菱東京UFJ銀行	342,000	4.07
立木 泰子	254,800	3.03
立木 康之	254,400	3.03
白川 寛治	250,500	2.98
京進取引先持株会	229,800	2.73
株式会社 京都銀行	208,000	2.47
株式会社 池田泉州銀行	208,000	2.47
株式会社 滋賀銀行	206,000	2.45

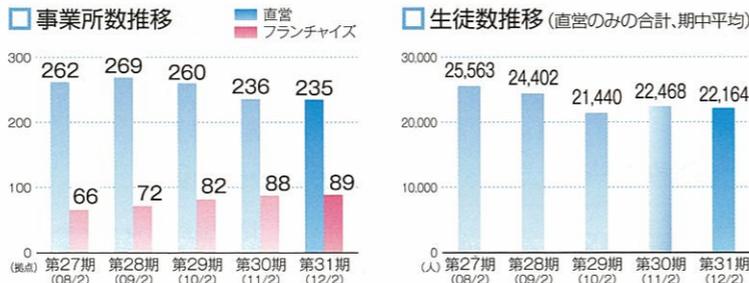
会社概況 (平成24年2月29日現在)

商号	株式会社 京進 (英語名 KYOSHIN CO.,LTD.)			
本社所在地	〒600-8177 京都市下京区烏丸通五条下る大阪町382-1 TEL 075-365-1500 (代表)			
創設	昭和50年6月	設立	昭和56年4月2日	
資本金	327,893千円			
役員	代表取締役会長	立木 貞昭	代表取締役社長	白川 寛治
	専務取締役	土坂 義高		
	取締役	高橋 良和		
	取締役	樽井 みどり		
	取締役	福澤 一彦		
	常勤監査役	福盛 貞蔵		
	監査役	彦惣 弘		
	監査役	尾川 宣之		
	監査役	市原 洋晴		
従業員	656名(連結) (平成24年2月29日現在)			

所有者別株式数分布



事業所数と生徒数の推移



トピックス

地域・文化への貢献活動

「京都で育てられた京進として、地域・文化に貢献したい」

後世に文学・和歌の文化を残したい

～京都・嵐山に「小倉百人一首」の歌碑を寄贈～

小倉百人一首文化財団と京都商工会議所は、京都の嵐山・嵯峨野一帯を「小倉百人一首」のテーマパークにするプロジェクトのひとつとして、嵐山・嵯峨野地域に「小倉百人一首」を刻んだ歌碑百基を設置されました。世界に誇れる平安時代の文学・和歌の文化を後世に残そうとする京都商工会議所の企画に賛同し、京都で育てられた京進として、地域文化に貢献したい想いで歌碑を寄贈いたしました。

京都老舗料亭でおもてなしを学ぶ

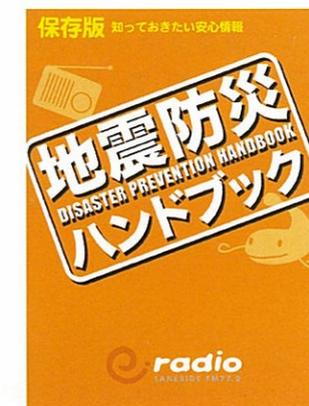
2011年の社員研修では、京都の老舗料亭で一流のおもてなしを学び、地元の文化への理解を深め、また地元への貢献にもつながるという主旨で食事会を行いました。

地域防災の役に立ちたい

～「地震防災ハンドブック」への協賛～

滋賀県のラジオ局、エフエム滋賀は、地震被害に対する認識・備えの必要性を訴えるため、『地震防災ハンドブック』を作成し、滋賀県民に無料配布する取り組みを企画し、実施されました。

京進は、滋賀県にお住まいの生徒・保護者の皆様、また、お世話になっている地域住民の皆様の安全に少しでもお役に立ちたいと考え、この取り組みに2008年から協賛しています。



京進のCSR

「自主基準遵守塾」として表彰されました！

2011年10月10日に社団法人全国学習塾協会による「塾の日シンポジウム 2011 in 長崎」が開催され、その記念式典において、自主基準(個人情報やコンプライアンスの遵守など)を通じて、広く社会一般の信用を得、子どもや保護者の方々と一体となり健全な発展を図ることを目的として掲げられている基準)をよく遵守した塾として、表彰されました。



株主メモ

※第32期より決算期(事業年度の末日)の変更を予定しております。詳しくは、9ページをご覧ください。

- ≫ 事業年度 3月1日～翌年2月末日
- ≫ 定時株主総会の基準日 2月末日
- ≫ 期末配当金受領株主確定日 2月末日
- ≫ 中間配当金受領株主確定日 8月31日
- ≫ 定時株主総会 毎年5月
- ≫ 株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- ≫ 同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行業
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
電話 0120-094-777 (通話料無料)
- ≫ 上 場 証 券 取 引 所 大阪証券取引所
- ≫ 公 告 の 方 法 電子公告により行う。
公告掲載URL <http://www.kyoshin.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

当社に関する情報はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.kyoshin.co.jp/>



 株式会社 京 進

本社 〒600-8177 京都市下京区烏丸通五条下る大阪町382-1
TEL 075-365-1500 (代表) FAX 075-365-1511 (代表)